

令和8年度 学校経営方針

春江小学校長 小林 麻子

1 教育目標

江戸川区教育目標を受け、「知・徳・体」の力を身に付け、地域・社会に根ざした教育活動の推進を通して「生きる力」を育み、人間性豊かな児童の育成を目指し、学校目標を設定します。

心のふるさと、共育 協働の春江小学校

(◎は重点目標)

◎すすんで学ぶ子 ○じょうぶな子 ○思いやりのある子

2 基本方針

すべての教育活動において人権教育と心の教育を基盤とし、以下の基本方針のもと、誰一人取り残さない教育、一人一人の力を伸ばす教育、社会に開かれた教育を推進します。

- 確かな学力を育成します。
- 健やかな体を育成します。
- 豊かな心を育成します。
- 安心・安全な学校づくりを推進します。
- 家庭・地域に開かれた学校づくりをすすめます。
- 教職員の質の向上を図ります。

3 具体的な方策

(1) 確かな学力の育成

① 基礎学力及び、学習習慣の定着を図ります。

- ・「春江学習スタンダード」の徹底を図り、全校で共通理解のもと授業を展開します。
- ・子供が「分かった」「できた」「楽しい」「もっとやりたい」と思える授業の工夫と質的改善を図り、学習内容の定着を図ります。(習熟の時間の設定)
- ・東京ベーシックドリルや区学力調査などをもとに、児童の実態把握、課題分析、課題解決のための取組等をすすめ、既習事項の定着を図ります。
- ・ICTを効果的に活用した授業を実施します。そのために教員研修を確実に実施し授業に生かします。児童は朝学習や習熟の取組、家庭学習などで積極的に電子ドリルを活用し、学力の定着を図ります。
- ・EDO スク、パワーアップ教室を通して個に応じた指導を行います。

② 主体的な学力の育成を図ります。

- ・授業では、ねらいと振り返りを実施し、児童に学びを実感させ、学習意欲の向上に努めます。
- ・興味関心、意欲、課題意識をもたせ、自らすすんで学び追求しようとする問題解決的、探求的な学習を大切に、思考力や判断力の育成に努めます。
- ・家庭学習の習慣化を図ります。

③ 学びの充実に向けた取組をすすめます。

- ・協働的な学習を大切に、伝え合い、学び合いから高め合う指導課程を工夫する。個別最適と協働の

視点を各授業において考えます

(2) 健やかな体の育成

① 自らすすんで体力を高める態度や意欲の向上を図ります。

- ・体力の向上を図るため、授業において、春江準備運動や授業の充実により運動量の確保をします。また、縄跳び、かけ足・持久走ウイークの取組、体力テスト前の運動週間の設定、結果を生かした取組などを推進し、運動の日常化を図り体力の向上につなげていきます。

② 自らすすんで健康な生活を送る力の育成を図ります。

- ・「早寝 早起き 朝ごはん」を家庭と連携して推奨し、基本的生活習慣の定着を図ります。また、給食後の歯みがき、フッ化物洗口を実施し、歯の健康への意識を高めます。

③ 食への関心を高めます。

- ・行事食、「盛り付け地図」、栄養指導、食育指導を通して食への関心を向上させます。

(3) 豊かな心の育成

① 自分を大切にし、他者を思いやる心を育成します。

- ・人権尊重の精神のもと、自分を大切にし、他人を思いやる心をもって豊かな人間関係を育みます。人権週間の取組を通して、偏見や差別をなくし多様な人々の存在を理解する気持ちを培います。
- ・道徳の授業を計画的にすすめます。また、柿の木プロジェクトを通して自他を尊重し、関係者と協力しながら平和を大切に活動する活動をすすめます。

② 主体性、思いやりの心を育む取組の推進します。

- ・たて割り班による異学年交流を年間に位置付け、上級生としてのリーダーシップや他学年との協力、思いやりの心を育てます。

③ 基本的生活習慣の定着を図ります。

- ・「春江スタンダード」に基づいた徹底した指導を図り、定着につなげます。
- ・挨拶を大切に考え、子供たち主体で取り組む挨拶運動などを通してみんなが気持ちの良い挨拶ができるようにします。

④ 健全育成を推進します。

- ・いじめや不登校の未然防止を図るため、アンケートや面談を行い、発見や解消・防止に努めるとともに、いじめの事案が起きた場合は組織的な解決にあたります。不登校については、保護者、関係機関とも連携を図り、早期発見・対応に努めます。
- ・情報モラルの育成にあたり、SNSの使い方を指導するとともに、「SNS家庭ルール」を作成し家庭と連携した取組をしていきます。

⑤ 特別支援教育の充実を図ります。

- ・特別支援学級の児童が通常学級の児童と一緒に学習する交流及び共同学習を行うことで、自他を尊重し共に支え合う心や社会性を育み、同じ目標に向かって協力し合う姿勢を育成します。
- ・特別支援教育の理解のため、教員研修を行います。また、児童にも特別支援学級を理解する取り組みを行い互いの理解につなげます。

⑥ 豊かな感性、情操の向上をすすめます。

- ・朝読書、読書の時間、学校応援団読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、読書週間時における教員による読み聞かせなどを通して、読書のよさを感じ、豊かな心を育成します。

⑦ 体験活動を推進します。

- ・ゲストティーチャー一覧を作成し、保護者や地域の方の協力により子供たちの豊かな体験活動につなげていきます。自然や文化に触れる体験活動を大切にします。

⑧ 個に応じた指導・支援の充実を図ります

- ・個に応じた支援をするため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど関係機関と連携を進めていきます。
- ・校内委員会を月に1回開催し、スクールカウンセラーや巡回教員、特別支援専門員とも連携しながら教職員が共通理解の上よりよい支援につながるようすすめていきます。

(4) 安心・安全な学校づくりの推進

① 自分の体・命を守る力の向上をすすめます。

- ・様々なケースを想定した、実践的な避難訓練と安全教室（セーフティ教室、自転車の乗り方、薬物乱用防止教室）、定期的な安全点検を実施します。

② 事故防止を徹底します。

- ・施設や設備の安全点検、安全管理を徹底します。
- ・食物アレルギー対応を共通理解し、事故防止に努めます。

(5) 家庭・地域に開かれた学校の実現

① 情報発信を充実させ、積極的な配信に努めます。

- ・ホームページの更新、学校だより等配信を通して子供たちや学校の取組を積極的に配信します。

② 家庭・地域に開かれた学校の実現に努めます。

- ・PTA、各町会、自治会、子供会等と連携を図り、地域とつながる支援をしていきます。
- ・春江中学校、新堀小学校と連携し、互いの授業参観・情報交換を実施します。

③ 保護者や地域の声を生かした学校の改善

- ・行事後のアンケート、学校評価等からの具体的な意見を、教育活動の改善や充実につなげます。
- ・学校評議員会を通して教育活動の理解に努めるとともに、課題について学校と保護者、地域が共有し解決に向けて取り組みます。

(6) 教職員の資質・能力の向上

① 学校運営、教育活動のよりよい改善をめざします。

- ・学校評価を活用して課題の明確化や改善策の立案・推進を通してより効果的な学校運営を推進します
- ・教職員一人一人が自己の職層における責任を理解し、校務分掌に積極性を創造性を持ち、組織の活性化につなげます。

② 教職員の資質・能力の向上をすすめます。

- ・若手教員の育成や教員の授業改善、教育活動の充実のため、研修や研究をすすめます。